

# 2018年9月7日 第3258回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 北村 会長

<斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」

<唱 和> 「四つのテスト」

<誕生月祝> \*石田 重藏 (S.28.9.2) \*猿丸 新二 (S.46.9.6)  
 \*北村 理和子 (S.24.9.8) \*久保田 英朗 (S.27.9.11)  
 \*兼城 毅 (S.49.9.13) \*萩生田 徹 (S.22.9.14)  
 \*加藤 元章 (S.30.9.14) \*関口 太郎 (S.36.9.17)  
 \*大野 忠之 (S.34.9.19) \*平松 廣司 (S.24.9.21)  
 \*小林 一博 (S.48.9.23) \*中村 英明 (S.41.9.24)  
 \*中村 勝則 (S.31.9.26) \*長坂 利広 (S.40.9.29)  
 \*岡 昌憲 (S.19.9.30) \*前田 長生 (S.26.9.30)

各会員

<入会月祝> ・鈴木 康仁 ・山 進 康 ・大野 忠之 ・福島 康人  
 ・土田 匡明 ・町田 竜五 ・小山 陽生 ・増田 幸司

各会員

<会長報告> \*ガバナー事務所より  
 ・地区資金報告書 着  
 ・《ミャンマーの国際奉仕に関する卓話について》お願い

<委員長報告> \*雑誌委員長 小山委員長より ロータリーの友9月号  
 \*出席委員会 福西委員長より 8月分出席報告 8月平均出席率 68.37%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
8月 3日	122名	101名	57名	44名	3名	59.41%
10日	123名	105名	68名	37名	1名	65.71%
24日	122名	110名	81名	29名	5名	78.18%
31日	122名	104名	70名	34名	3名	70.19%

\*2017-18年度青少年交換学生カウンセラー 八巻会員より  
 青少年交換 来日・帰国学生オリエンテーション/解団式 報告

<幹事報告> \*ガバナー月信 No. 3  
 \*移動例会について (10月26日(金)～27日(土) 実施)

<出席報告> \*出席委員会 福西委員長より 9月7日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
122名	100名	88名	24名	4名	82.14%

<ニコニコ報告>

- ・石田、猿丸、北村、加藤(㊦)、平松、小林(一)、中村(巒)、中村(隼)、岡、前田 各会員 誕生月祝いとして
- ・山(一)、福島、町田、小山、増田 各会員 入会月祝いとして
- ・三 役 「首相官邸医官の北朝鮮訪問記」平田文彦会員、本日はよろしくお願ひします。
- ・角井、瀬戸、小平、勝間、山(一)、梁井、岩崎、澤田、松村、新倉(巒)、上林、波島、新倉(隼)、濱田、杵淵、谷、勝見、飯塚、上原(巒)、中村(隼)、岡田、信木、福西、齋藤(眞)、猿丸、岩瀬、明野、渡邊、藤村、鈴木(巒)、若麻績、根岸、三堀、長尾、吉田、中村(隼)、町田、前田、原田、田邊、石田、杉山、門井 各会員  
 平田文彦会員、卓話ががんばって下さい。楽しみにしています。
- ・平田 会員 本日のつたない卓話よろしくお願ひします。

- ・加藤 勲、新倉 良、瀬 戸、鷺 尾、新倉 健、増 田、臼 井、加賀本、福 西、吉 田 各会員  
9月4日(火)に5番テーブルミーティングを汐入OTONARI3にて開催致しました。  
当日は事務局の三宅さんもご参加頂いて、美味しい料理と楽しい会話で盛り上がりま  
した。みなさんお疲れ様でした。
- ・小 沢 会員 昨日で公益財団法人米山記念奨学会の理事長を退任し名誉理事長になりました。長い  
間のクラブの皆様のご支援ありがとうございました。
- ・山 ・ 会員 NTT加藤淳会員に大変お世話に成りました。感謝しています。
- ・大 竹、小 山、物 井 各会員 史上初！全米OP、日本人男女Best 4進出。ガンバレ錦織！  
ガンバレ大坂なおみ！
- ・松本 剛、清 水、鈴木 豊 各会員 今日のお寿司とってもおいしかったです。
- ・梁 井 会員 写真をいただいて

## <新会員卓話>

## 「首相官邸医官の北朝鮮訪問記」

平 田 文 彦 会 員

皆さまは首相官邸に医務室（診療所）があることをご存知でしょうか？小渕総理が現職の時に脳梗塞で倒れた事例を踏まえ、森総理の時に危機管理対策として官邸に医務室が設置されました。設置当初からこの官邸医務室は自衛隊中央病院が医官（医師）ならびに看護官（看護師）を365日24時間派遣して運営しており、総理が東京都の外に出る際には必ず同行することになっています。私は2002年の小泉第一次訪朝団の当時、自衛隊中央病院に在職し、この職務を担当していましたので訪朝団の一員として北朝鮮を訪問する機会を得ました。本日はこの貴重な経験を振り返り、下記の項目について自身の経験（私見）を述べたいと思います。



### 記

#### 1. 官邸医務室の概要

首相官邸の地下には医務室があります。少し狭いクリニック程度のスペースです。救急医薬品の他は最低限の内服薬が備えられており、首相はじめ官邸主要スタッフの急な疾病に備えています。1年365日医師1名、看護師1名が常駐しています。夜間は官邸に隣接しているビジネスホテルレベルの宿泊施設に待機し、緊急の呼び出しに備えています。

#### 2. 政府専用機について

皆さんご存知の日の丸マークの政府専用機は航空自衛隊のパイロット並びに機内乗務員が運行しています。母機種はボーイング747であり、機内の構造は通常ファーストクラスの機内前部に執務室、会議室等首相の専用スペースがあり、ビジネスクラス相当部に首相に同行する政府関連職員の座席が配置されています。私の席はこの場所で、通路を挟んだ機体中央には当時外務省職員の田中 均さんがいらっしゃいました。

エコノミークラスの部分には政府メンバーに同行するマスコミ関係者の席が多数用意されています。私が搭乗した際には安藤優子さんなどが搭乗されていました。

#### 3. 平壤空港の印象

政府専用機が平壤空港に到着した際、テレビ報道で小泉総理がタラップを降りるシーンをご覧になった方も多いと思います。私は全く同時に機体後方に向けられたもう1つのタラップを降りていました。横目で総理を眺めながら、周囲の様子を見てみると、当時の平壤空港には外柵がなく、少し盛り

上がった周堤があるのみでした。そして牛を連れた農民らしき人が、1人上半身は白のランニング姿でこちらを見ていました。数百メートル先の空港ターミナルは人が無いように見えました。滑走路脇のエプロンには中華航空の飛行機が数台駐機していました。

#### 4. 空港から平壤市内までの沿道の様子

空港から平壤市内までは数十分の道のりでした。いわゆる自動車専用道路を進んだのですが、沿道には数百メートル毎に制服姿の警備員が整列して車を誘導していました。平壤の市街地に入るまでは全て男性で、太った人は1人もいませんでした。そして市内に入った途端、警備の担当は全員がミニスカート姿の女性に変わりました。これが噂に聞く喜び組かと感じたのを覚えています。

#### 5. 金正日氏の印象

百花園迎賓館に到着し、ボディチェックを受けたあと、かの有名な黄緑色の絨毯の屋内に入りました。到着時は金正日の姿をみることは出来ず、控え室に案内されました。以後、昼食を挟んで私は控え室で待機となり、ドアが開け放しにされた廊下を日本の外務省の若手職員がバタバタ走り回るのを眺めながら、日本のNHK BSで会談の様子を知るのみでした。会談が終了し、小泉総理とともに迎賓館を後にする際には5mほどの距離で金正日を直に見ることができました。身長は小泉総理よりもかなり低く、シークレットブーツか否かは不明でしたが、かなりヒールの高い黒い靴を履いていました。

#### 6. 百花園迎賓館でのエピソード

午前の終わりのころ、私たち随行の人間には日本から持参したおにぎり弁当が配布されました。ノリを巻いたおにぎり2個と沢庵がふた切れ入ったコンビニでもお馴染みのものです。価格は600円程度だったと記憶しています。この弁当を半分ほど食べた後、外務省の職員から、北朝鮮側が用意した昼食を食べてくれとの依頼を受け、我々待機組が、円卓を囲み、日本人だけで会食をすることになりました。その際のエピソードは口頭でお話します。

#### 7. 高麗ホテルでのエピソード

会談を全て終え、小泉総理の同行記者団との記者会見のため、高麗ホテルに移動しました。この時、平壤の市内は季節的に合わないのですが、まるで淡雪のような柳絮が舞っていました。ホテルに入り、日本政府の先遣隊として1週間前から現地入りしていた外務省医務官から面白い話を聞きました。高麗ホテルの客室に滞在して、部屋に一人のはずなのに、常に誰かの視線を感じるというのです。始めのうちは気味が悪かったのだそうですが、2-3日するとその正体が、部屋の鏡の奥にいる人の気配であることが分かったとのことでした。滞在の終わり頃には鏡に向かって手を振ると、その奥から動揺した雰囲気まで感じ取れたそうです。外国人滞在者は常に見張られているということでしょう。またこのホテルの売店に行ったところ、入り口には金日成、金正日のお馴染みのバッジが山と積まれており、同行のマスコミはお土産に沢山買っていました。その向かいには何のためか分かりませんが、日本製の日清唐揚げ粉が売られていました。私たちは政府の一員であり、興味はありましたが、バッジを買うことは出来ませんでした。

#### 8. 夜を迎えた平壤市内の印象

高麗ホテルを後にして、平壤空港に向かう頃には完全に日が暮れて、市内は家路に向かう人たちが、明かりのほとんどない真っ暗な地下鉄の駅に吸い込まれていく様が異様に感じられました。5-6階建ての集合住宅にも部屋の明かりは疎らでしたが、対照的に金日成記念の建物などは派手にライトアップされていました。この国は電力利用も統制下にあるのだと感じました。空港に戻り、無事に羽田空港に向け離陸しました。そして約1時間後、羽田に着陸して、携帯電話の電源を機内でONにして初めて、家族に今日日帰り海外旅行に行ってきましたと報告をしたのでした。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 白井 健